新田 健介 議員

もっと本気でサル対策を！

問 大島大橋の近辺だけではなく、目撃情報が多い場所にも監視カメラを設置してはどうですか。

また、侵入を阻止する体制づくりも必要不可欠であると考えますが、見解を伺います。

検討し対応していきたい

答 まずは大島大橋に設置するカメラで侵入経路を確認し、より有効な侵入防止策を講じていきたい。

近隣市町との連携も必要では？

問 サル対策に関しては、近隣市町（柳井市・岩国市）とともに、広域で連携した対応をすべきでは？

情報共有を含め協議を重ねる

答 柳井市などと協議を始めており、今後も継続していきたい。

アレルギー対応の非常食について

問 本町の避難所での非常食の種類や内容について伺います。

また、誤食を防ぐための対応として、避難所の受付名簿に、食物アレルギーやその他のアレルギー疾患（喘息・アトピーなど）も記入できるようにすべきでは？

引き続き備蓄していく

答 現在、非常食は4，331食備蓄しており、アレルギー対応の非常食は1，580食備蓄しています。

食物アレルギーは生命に関わることも考えられるので、今後は具体的な対応策をマニュアル化するとともに、アレルギー対応の非常食については引き続き、常時備蓄するよう努めます。

サルが増えないように対策が必要！
サルを見かけたら農林課へ
0820-79-1002

山根 耕治 議員

ファミリーサポートセンターは？

問 子育て支援事業の中で、ファミリーサポートセンターは、子育ての援助を受けたい会員と援助を行いたい会員が、地域で子育てを支え合う組織です。

子どもの送迎や預かりなど、多くの場面で利用することができ、子育て中の家庭を支援するのが目的です。

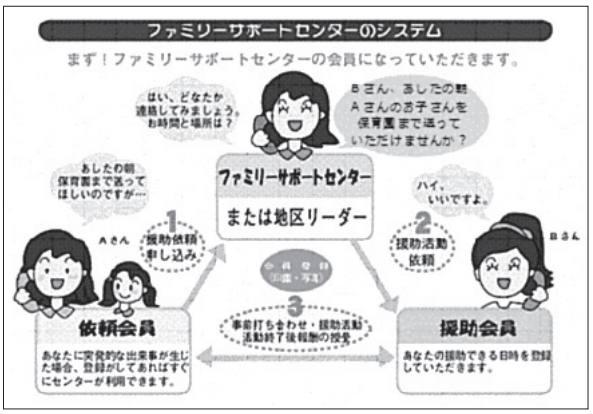
本町の「子ども・子育て支援計画」では「令和6年度以降の実施を目指す」とありますが、現在県内で実施していないのは本町を含めて3町のみで、近隣の市町ではすでに多くの方が利用しています。

本町のファミリーサポートセンター事業を早期に実施するため、現在の進捗について伺います。

早期設置に向けて努力します！

答 ファミリーサポートセンターについては、令和6年度の実施に向けて、令和4年度にニーズ調査を行い、課題を精査して本町の「子ども・子育て会議」で了承が得られれば、令和5年度に柳井広域圏内の市町と協議して、令和6年度に柳井広域で共同実施したいと考えています。

ファミリーサポートセンターを設置するには、財政面も含め多くの課題がありますが、一つひとつ解決しながら、一日でも早い設置に向けて努力していきます。



山口県庁のホームページから引用